



こころつなく。笑顔かがやく。

A photograph of three glasses filled with iced drinks. The foreground glass is in sharp focus, containing a reddish-orange liquid with several ice cubes and a black straw. Two other glasses, one with a green drink and one with a yellow drink, are visible in the background, slightly out of focus. The background is a bright, clean white surface.

MOROZOFF View

第93期 報告書 2022年2月1日～2023年1月31日

新たな中期経営計画をスタートしました。

代表取締役社長 **山口信二**



株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大と収束が繰り返されたものの、行動制限の緩和により人流は総じて回復基調となり、持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症に対する潜在的な不安に加え、原材料価格やエネルギー価格の高騰、円安の影響による物価上昇により、消費マインドの冷え込みが懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する洋菓子業界におきましては、食料品価格の値上げの動きが強まる中での節約志向は一段と高まっており、限られたパイを巡る企業間競争は厳しさを増しております。

当社グループはこのような環境下にあっても、企業スローガン『こころつなぐ。笑顔かがやく。』のもと、スイーツを通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供させていただくことに注力いたしました。また長引くコロナ禍の中で、引き続きお客様や従業員に対する感染防止対策を徹底しながら、生産性の改善、人員体制の最適化、コストの削減、適正在庫の確保に努めました。

その結果、第93期の業績につきましては、「当期の概況」に記載のとおりとなりました。

中期経営計画 「Re Morozoff 2022～変革～ 2nd Step」を終了しました。

中期経営計画「Re morozoff 2022～変革～」は「販路」「商品・ブランド」「生産」「組織」のすべての分野で常に変革を続けながら、それらを有機的に連携させることでその効果の最大化を図り、ブランド価値のさらなる向上と利益創出構造の強化につなげ、すべての

ステークホルダーの満足度を高めるとともに、経営理念とサステナビリティ(持続的成長)を実現していくことを目的に、2018年1月期～2023年1月期の6年間で「1st Step」「2nd Step」の2段階に区切って実行してまいりました。

「2nd Step」(2021年1月期～2023年1月期)ではスタート直後から新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、売上高、利益とも大きく下落いたしました。コロナ禍での環境変化に対応しつつ利益構造改革に取り組んだことで、売上高は当初目標には及ばなかったものの、営業利益および営業利益率は当初目標および修正目標を上回ることができました。

新中期経営計画 「つなぐ～next stage 2031～」をスタートしました。

当社グループを取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少に加え、原材料価格の大幅な上昇や、人手不足の顕在化など、引き続き予断を許さない状況にあります。

このような環境を踏まえ、新たな中期経営計画「つなぐ～next stage 2031～」を2024年1月期からスタートいたしました。当社は2031年8月に100周年を迎えますが、この新中期経営計画は100周年を最終年度とし、2024年1月期～2032年1月期の9年間で「Step1」「Step2」「Step3」の3段階に区切って実行してまいります。時代に即したお客様接点を創造し、そしてお客様に提供する新たな価値を創造することで、未来につながる経営基盤を築くとともに、新たな成長戦略を講じて、景気変動や環境変化に左右されない、安定した収益の確保とサステナビリティの実現を目指してまいります。

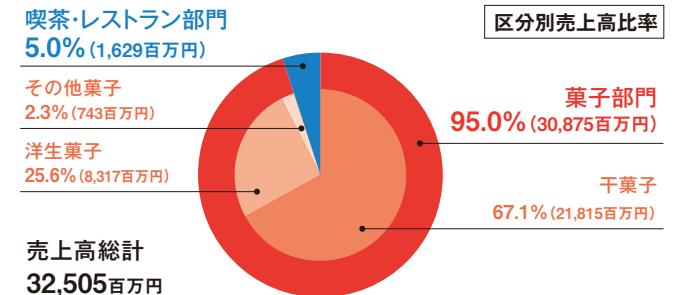
株主の皆様におかれましては、何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

売上面につきましては、2月に新型コロナウイルス感染症の第6波がピークを迎えたことで、当社グループにとって最大の商戦であるバレンタインデーが影響を受けましたが、4月以降は回復傾向となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、8月の感染第7波、年末年始の第8波はあったものの、10月からの全国旅行支援の再開や、感染症対策による行動制限が順次緩和されたことで、人流は回復基調となって、下半期の個人消費が好調であったこともあり、当連結会計年度の売上高は32,505百万円となりました。

損益面につきましては、増収効果や、効率的な生産体制による生産性の向上、店舗の人員体制の最適化に加えて、原材料やエネルギー価格の急上昇により売上原価率は上昇しつつあるものの、まだその影響は限定的に止まったこともあり、営業利益は2,423百万円、経常利益は2,615百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,703百万円となりました。なお、当連結会計年度は連結初年度に当たるため、前連結会計年度との比較は行っておりません。

また、当社グループは2023年1月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。個別決算の業績につきましては、売上高31,677百万円(前期比7.2%増)、営業利益2,485百万円(前期比23.5%増)、経常利益2,666百万円(前期比25.4%増)、当期純利益1,674百万円(前期比62.7%増)となりました。なお、前期比は、2022年1月期に係る各数値について当該会計基準等を遡って適用した後の数値との対比を記載しております。



洋菓子製造販売事業の概況

干菓子につきましては、4月以降はまん延防止等重点措置が解除されて個人消費が回復に転じたこともあり、バターにこだわった焼菓子ブランド「ガレット オブール」、「ファヤージュ」などの焼菓子に加え、中元を含む夏ギフト商品や土産商品なども堅調に推移いたしました。10月以降は行動制限の緩和などの効果もあり、クリスマス商品やバレンタイン商品の先行出荷も好調に推移いたしました。また、実店舗での販売以外にも、インターネットやカタログ販売に注力し売上獲得に努めました。

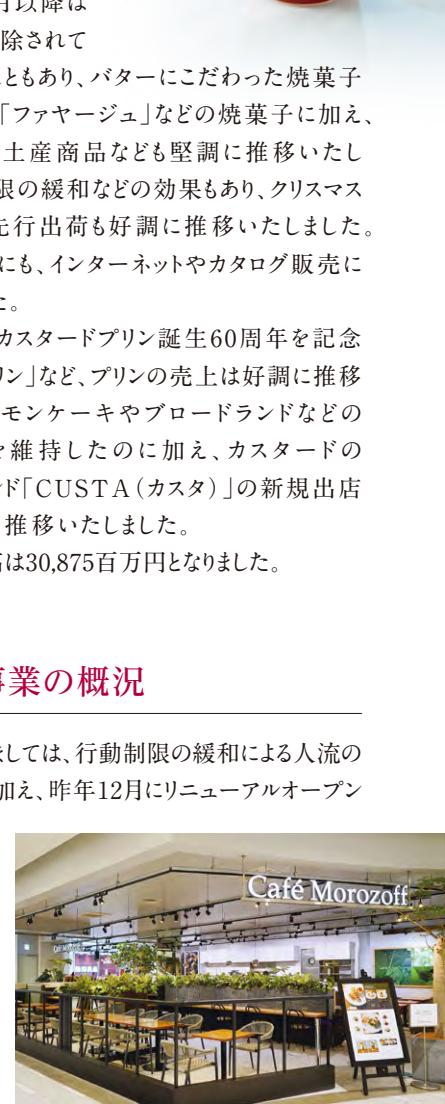
洋生菓子につきましても、カスタードプリン誕生60周年を記念した「濃たまごのカスタードプリン」など、プリンの売上は好調に推移いたしました。また瀬戸内レモンケーキやブロードランドなどの半生菓子も順調な売上を維持したのに加え、カスタードの奥深い魅力を楽しむ新ブランド「CUSTA(カスタ)」の新規出店などもあり、売上高は順調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は30,875百万円となりました。

喫茶・レストラン事業の概況

喫茶・レストラン事業につきましては、行動制限の緩和による人流の増加に伴う売上高の回復に加え、昨年12月にリニューアルオープンした阪神梅田本店カフェモロゾフの売上貢献などもあり、売上高は順調に回復いたしました。

その結果、売上高は1,629百万円となりました。

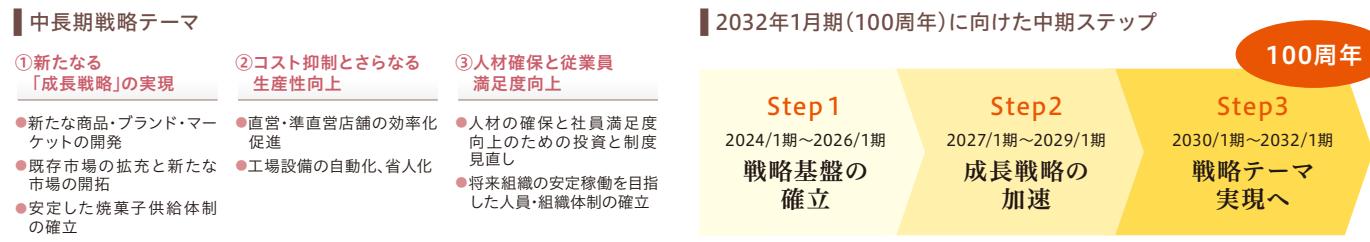
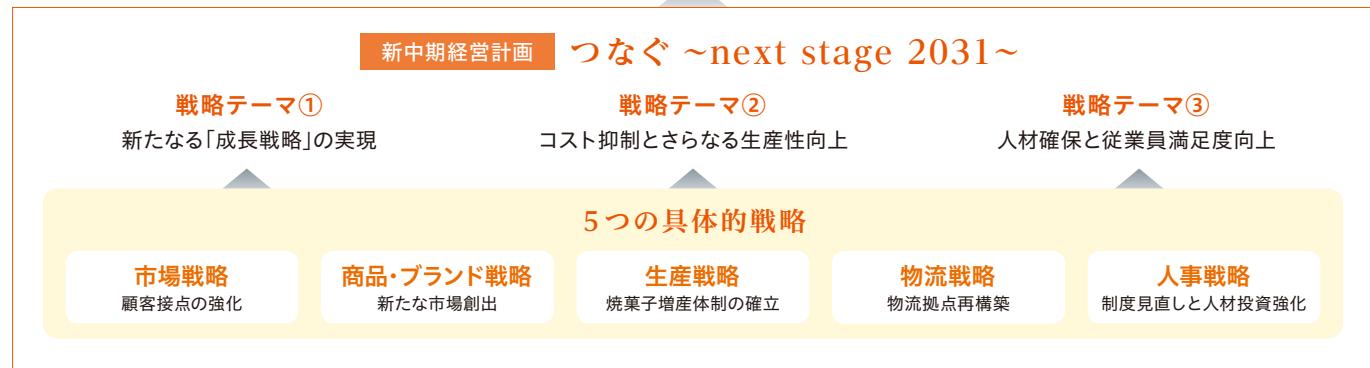
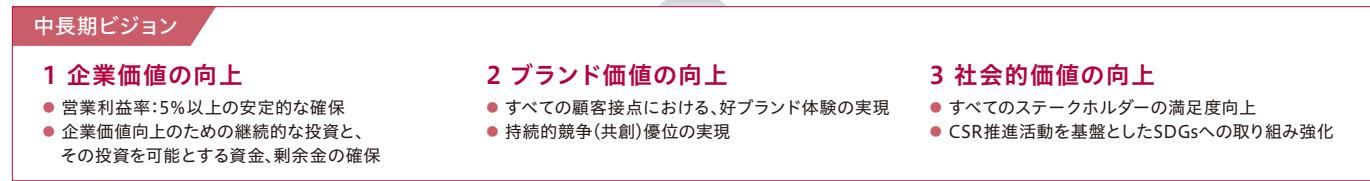


つなぐ ~next stage 2031~

新たな中期経営計画「つなぐ ~next stage 2031~」を2024年1月期からスタートしました。
 当社は2031年8月に100周年を迎えますが、この新中期経営計画は100周年を最終年度とし、2024年1月期～2032年1月期の9年間で「Step1」「Step2」「Step3」の3段階に区切って実行してまいります。

新中期経営計画の全体構成

経営理念 **Be Prime, Be Sweet.** 企業スローガン **こころつなぐ。笑顔かがやく。** 経営目的 **お客様に笑顔を届ける**



「Step1」目標数値(連結)

	2026年1月期 目標
売上高	33,200百万円
営業利益率	6.0%

カスタードプリン誕生60周年&記念商品

カスタードプリンの歴史

カスタードプリンが誕生したのは1962年(昭和37年)。東京銀座にほど近いモロゾフのカフェで、当時の従業員がオリジナルメニューとして陶器の器に入れて1日数十個ずつ焼いたプリンがはじまりです。
 1973年にガラス容器に変わってから、形状変更や軽量化などを繰り返しながらも、発売当初からずっと変わらないモロゾフ秘伝のレシピでこれまで皆様にご愛顧いただき、2022年に誕生60周年を迎えることができました。



カスタードプリンが誕生したモロゾフ日石ショップ



記念商品「濃たまごのカスタードプリン」

カスタードプリン誕生60周年を記念して、たまごのおいしさを凝縮したコク深い味わいの「濃い」カスタードプリンを「モロゾフ プリンの日」である5月25日から11月末まで全国で発売しました。
 モロゾフ定番のカスタードプリンと比較して、卵黄の配合比率を約1.8倍にアップ。食べ進めるほどに味わい深くなるたまごのコクを楽しめる贅沢仕立て。華やかに香る2種類のバニラとほろ苦い琥珀色のカラメルソースが全体の味わいを引き締めます。
 しっかりとミルク感もありながら、食べ応えのある「濃い」たまごの味わいのカスタードプリンです。



2022年5月18日～25日、全国に先駆けて東武百貨店 池袋本店にて先行販売を実施しました。



大丸松坂屋百貨店とのコラボレーションプリン販売

モロゾフのカスタードプリン誕生60周年を記念して、株式会社大丸松坂屋百貨店の社員インフルエンサーとコラボレーションしたプリンを、2022年8月から大丸東京店をはじめとし各地の大丸・松坂屋にて期間限定で販売いたしました。モロゾフのカスタードプリンの「変わらないおいしい味」と、過去と現在、そして未来をつなぐ「変わらない美しい空」を重ね合わせた、スペシャルなプリンです。



カスタードプリンと青空ゼリー



カスタードプリンと夕空ゼリー

催事店舗について



大丸東京店

大丸梅田店

新店舗情報

新ブランド「CUSTA(カスタ)」が阪神梅田本店にオープン

2022年4月6日、カスタードの奥深い魅力を楽しむ新ブランド「CUSTA(カスタ)」が阪神梅田本店にオープンしました。自分へのご褒美から大切な人への贈り物まで、カスタードプリンが発売以来、モロゾフがこだわり続けてきた“カスタード”の新たな魅力を新定番スイーツとともにお届けしています。



CUSTA(カスタ)

カスタード。その奥深い世界へ。

新ブランド「CUSTA(カスタ)」は素材と製法にこだわった“カスタードスイーツ”専門店です。モロゾフ人気のカスタードプリンが誕生して60年。こだわり続けてきた“カスタード”の新たな魅力があふれるスイーツをお楽しみいただけます。



CUSTA
(とろけるカスタードクリームケーキ)

クリームドール

クリームブリュレ



「鎌倉ニュージャーマン 鎌倉本店」にカフェがオープン



2022年7月26日、モロゾフの子会社である株式会社鎌倉ニュージャーマンの鎌倉本店に、カフェがオープンしました。鎌倉散策中に一息つけるような落ち着いた空間で、人気の「かまくらロール」や「かまくらカスター」をカフェ限定仕様でお楽しみいただけます。



かまくらカスター
(たっぷりカスタード)



New

ニュージャーマンプレートとお飲み物



「三井ショッピングパーク ららぽーと福岡」に出店

2022年4月25日、九州初進出の大型商業施設としてグランドオープンした「三井ショッピングパーク ららぽーと福岡」に出店しました。博多スイーツ工場仕立ての焼き菓子、カスタードプリン、限定スイーツなど幅広いラインナップをご用意しています。



全国
初登場



窯だしクッキーシュークリーム

バターのみろやかな香りと、カリッと芳ばしいアーモンドの食感と、カスタードの濃厚な味わいを一度に楽しめます。

窯だしクッキー&パイ

素材や食感、1枚1枚にこだわりを詰めた焼き菓子をお届けします。1枚から詰合せまで、自分へのご褒美や贈り物にもぴったりです。



催事

バターを楽しむ焼き菓子のブランド「ガレット オ ブール」続々展開

フランス語で「バターの焼き菓子」という意味のバターを楽しむ焼き菓子専門店「ガレット オ ブール」。2020年8月に東京・銀座に1号店がオープンし、現在は大阪、博多に常設店があります。2022年も新価格帯や期間限定商品などを取り揃え、各地で販売しました。



大丸東京店



東武百貨店池袋店



高島屋京都店

大阪高島屋・博多阪急「ガレット オ ブール」1周年記念商品

「ガレット オ ブール」新規オープンから1周年を迎えた2022年に、大阪高島屋と博多阪急にて、これまでのご愛顧に感謝の気持ちを込めて、数量限定でブランドロゴをあしらったトートバッグを焼き菓子とセットで販売しました。



博多阪急店

表彰

バレンタインを通じたユニセフへの寄付について紺綬褒章に係る褒状を受章しました

当社は、厳しい環境下におかれた世界の子どもたちの支援を行う(公財)日本ユニセフ協会の活動に賛同し、1993年から現在に至るまで毎年、バレンタインの収益の一部をユニセフに寄付しています。この度、バレンタインを通じたユニセフへの寄付金が一定額を超えたため、2022年9月27日に紺綬褒章(※)褒状を受章いたしました。

21世紀の今でも、世界では、年間500万人、1日あたり約13,700人の命が5歳になる前に失われています。さらに、約1億6,000万人の子どもが児童労働を強いられています。このような厳しい環境下で生きる子どもたちの笑顔が少しでも増えるよう、これからもこの活動を続けてまいります。

※紺綬褒章：日本の褒章の一つ。公益のために私財を寄付した者に授与するものとして制定された。現在は、公的機関や公益法人などに一定額以上寄付した個人・団体に贈られる。個人は褒章が授与されるが、団体は褒状になる。



(公財)ユニセフ協会より
竹原常務取締役が褒状を受け取られました。

♡ 🎁 ♡ 2023 VALENTINE'S DAY ♡ 🎁 ♡

1932年、日本ではじめてバレンタインにチョコレート贈るスタイルを紹介したモロゾフ。
2023年のバレンタインに登場した新しい2つのブランドをご紹介します。



花と酒とチョコレート
Flowers,
Chocolates, and
Pleasant days

花と酒とチョコレート

こころを満たす“花”と“酒”と“チョコレート”。何気ない日常の4つのシーンに寄り添うチョコレート。花の名を冠するフラワーカクテルのような華やかな味わいやシャンパン、赤ワイン、果実のリキュール、フルーツなど4つのストーリーにぴったりのチョコレートを詰め合わせました。味と香りの異なる一粒一粒を堪能いただけます。



「乙女の休息」

「フラワリーカン」



CHOCOLAT na NEKO
Kittens with adorable facial expressions
that will melt your heart,
like sweet chocolates

ショコラな猫

可愛い子猫たちをチョコレートで表現した新ブランド「ショコラな猫」。まるでスイーツのように甘く、愛らしい表情の猫たち。その愛らしい姿を描いたパッケージは思わず手に取りたくなる可愛さ。「この子、可愛い!」、「うちの子に似ている!?!」など、お気に入りの猫が見つかる、猫好き必見のチョコレートアソートです。



ショコラな猫

ショコラな猫
甘えんぼうのミア

🎃 🎃 🎃 2022 HALLOWEEN 🎃 🎃 🎃

モロゾフがはじめてハロウィーン商品を発売したのは1976年。今では秋の定番イベントとしてすっかり定着しました。

2022年も限定デザインのチョコレートや、贈り物にもぴったりの商品でハロウィーンを盛り上げました。

カフェモロゾフではハロウィーン限定メニューが登場しました。

New

ミートンリート バッグ

いたずら好きの黒猫デザインの、トートバッグ入り商品が新登場。ランチバッグやサブバッグにぴったりのサイズです。2種類のチョコレートサンドクッキーに、チョコレート、キャンディ、クランチチョコレートを詰め合わせました。



Renewal

ハロウィーンナイト

黒猫のクローニャが隠したお菓子を集めながら、クローニャを探すストーリーを楽しめるパッケージ。人気の「ジャック オランタン」のバタークッキーやコイン型チョコレートなど、扉を開けることにお楽しみいただけます。



マロンパフェ

カフェモロゾフにハロウィーン限定パフェが登場。熊本産の風味豊かな栗を使用したモンブランクリームと、モロゾフのチョコレートムースを使ったスペシャルパフェです。



❄️ ❄️ ❄️ 2022 CHRISTMAS ❄️ ❄️ ❄️

サンタクロースやトナカイなどがデザインされたかわいらしいパッケージとともに、モロゾフの人気商品でクリスマスムードを盛り上げました。

また、ご家族やご友人と、おうちで楽しいひとときをお過ごしいただけるよう、クリスマス限定スイーツをお届けしました。

Renewal

ホリデースイートカレンダー

クリスマスオリジナルチョコレートが入った窓を毎日ひとつずつ開けながら、クリスマスをわくわくと待つ毎年人気のアドベントカレンダー。クリスマスを楽しんでいる様子を描いた温かみのあるデザインです。



Renewal

クリスマスブック

ブック型のパッケージに1から12までの数字をラベルにデザインしたミルクチョコレートと組み合わせました。2023年のミニカレンダー付きです。



Renewal

クリスマス ストロベリーショートケーキ

粒よりのいちごが主役のショートケーキが華やかに生まれかわりました。たまごの風味が豊かなふんわりと口どけの良いスポンジケーキにスライスしたいちごとたっぷりのクリームシャンティをサンド。華やかなオーナメントがケーキを飾ります。



財務ハイライト

■ 連結貸借対照表		(単位:千円)
科目	期別	当期 (2023年1月31日現在) 金額
(資産の部)		
流動資産		15,919,931
固定資産		10,676,019
有形固定資産		7,795,636
無形固定資産		139,687
投資その他の資産		2,740,696
資産合計		26,595,951
(負債の部)		
流動負債		7,350,739
固定負債		664,995
負債合計		8,015,734
(純資産の部)		
株主資本		18,232,161
資本金		3,737,467
資本剰余金		3,918,352
利益剰余金		10,688,523
自己株式		△ 112,182
その他の包括利益累計額		348,054
その他有価証券評価差額金		474,108
土地再評価差額金		290,138
退職給付に係る調整累計額		△ 416,193
純資産合計		18,580,216
負債・純資産合計		26,595,951

(注)当期より連結計算書類を作成しているため、前期の各数値については記載しておりません。

単体の経営成績



(注)第93期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、第92期以前の各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

■ 連結損益計算書		(単位:千円)
科目	期別	当期 (2022年2月1日から 2023年1月31日まで) 金額
売上高		32,505,834
売上総利益		16,953,202
営業利益		2,423,757
経常利益		2,615,757
税金等調整前当期純利益		2,594,354
親会社株主に帰属する当期純利益		1,703,234

■ 連結キャッシュ・フロー計算書		(単位:千円)
科目	期別	当期 (2022年2月1日から 2023年1月31日まで) 金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,200,739
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,540,695
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 440,683
現金及び現金同等物の増減額		219,360
現金及び現金同等物の期首残高		5,383,737
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高		44,192
現金及び現金同等物の期末残高		5,647,290

第94期の予想

第94期(2023年2月1日~2024年1月31日)の業績予想につきましては、人流や個人消費は回復基調が継続することが想定されますが、下半期については前年に行動制限が解除されて消費が好調であったことの反動もあり、売上高は厳しくなると思われるため、通期では横這い程度に収まると想定しております。一方で損益面では、原材料価格やエネルギー価格の高騰に加えて、物流関連費用の増加や人件費の上昇など、大幅なコストアップを想定しており、それらの影響も踏まえて以下のように見込んでおります。また、第94期の配当は年間55円を予定しております。

第94期(予想)	(単位:百万円) (%は対前期増減率)			
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	32,570	1,710	1,800	1,130
	0.2%	△ 29.4%	△ 31.2%	△ 33.7%

■ 配当予想		(単位:円)	
	中間	期末	合計
第93期	-	65	65
第94期(予想)	-	55	55

株主様に対する特典

基準日：7月31日(年1回)

当社は、毎年7月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様を対象に株主優待を実施しております。

優待品 ①株主優待券または自社商品 ※下表の株主優待券および商品の写真は見本です。実際の優待品と異なる場合があります。

保有年数	保有株数	
	100~999株	1000株以上
3年未満	優待券5冊(20枚綴) 2,000円相当の自社商品 どちらか1つ選択	優待券10冊(20枚綴) 3,000円相当の自社商品
3年以上	優待券5冊(20枚綴) 2,000円相当の自社商品A 2,000円相当の自社商品B いずれか2つ選択	優待券10冊(20枚綴) 3,000円相当の自社商品A 3,000円相当の自社商品B

●優待券または商品は、11月下旬頃に発送いたします。 ●株主優待券の有効期限は、翌々年5月31日です。
●株主優待券は当社の指定店および通信販売で優待券1枚につき割引前本体価格1,000円までの現金でお買い上げ、ご飲食に対して20%を割引いたします。

優待品 ②オンラインショップ優待割引

100株以上保有の株主様はモロゾフオンラインショップ(<https://shop.morozoff.co.jp/>)で年4回、20%割引でご購入いただけます。

●1回当たりのご利用上限額は割引前本体価格10,000円です。 ●ご利用可能期間は、11月1日から翌年10月31日までです。
●3年以上保有の株主様は株主名簿(7月31日現在と1月31日現在の年2回発行)に、同一の株主番号で、7回以上連続で記載または記録された株主様といたします。

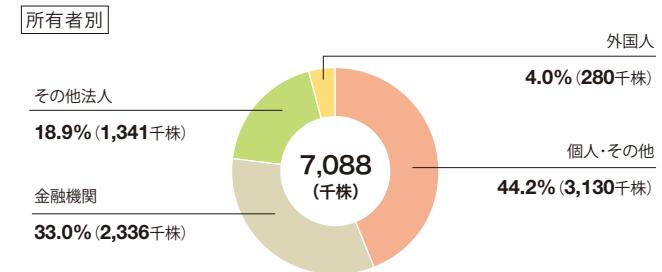
株式情報

■ 株式の状況 (2023年1月31日現在)

発行可能株式総数	24,000,000 株	株主数	11,554 名
発行済株式の総数	7,088,452 株	うち単元株主数	9,130 名

(注)1. 2022年2月1日付で実施した株式分割(1株を2株に分割)に伴い、発行可能株式総数は12,000,000株増加、発行済株式の総数は3,669,226株増加しております。
2. 2022年8月10日付で実施した自己株式の消却に伴い、発行済株式の総数は250,000株減少しております。

■ 株式分布状況 (2023年1月31日現在)



株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月中
基準日	定時株主総会・期末配当 1月31日 中間配当 7月31日
公告方法	電子公告 https://www.morozoff.co.jp/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎(通話料無料)0120-094-777

【ご注意】

- ◎株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ◎特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
お手続き用紙のご請求は、インターネットでも承っております。
インターネットホームページ <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>
- ◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

表紙の商品について

フルーツ オブ フルーツ

繊細なフルーツゼリーの中に、産地を厳選した国産果実を閉じ込めて、フルーツそれぞれの味わいを引き立てたゼリー。



モロゾフ株式会社

www.morozoff.co.jp



〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西五丁目3番地

☎078-822-5000(代表)

(登記上の本社 神戸市東灘区御影本町六丁目11番19号)

会社概要 (2023年1月31日現在)

商号	モロゾフ株式会社 Morozoff Limited
設立	1931年8月8日
従業員数	520名(連結:534名) (注)上記従業員の他、嘱託社員59名および臨時従業員がおります。
上場取引所	東証プライム市場(証券コード:2217)
事業所	〈営業所〉 本社(神戸) 御影オフィス併設・六甲アイランド オフィス(神戸)・関西支店(神戸)・東京支店・ 名古屋支店・福岡支店・北海道営業所(札幌)・ 仙台営業所 〈工場〉 西神工場(神戸)・六甲アイランド工場(神戸)・ 船橋工場・福岡工場・札幌工場

役員 (2023年4月25日現在)

代表取締役社長	山口 信二
代表取締役副社長(経営統括本部長)	山岡 祥記
常務取締役(マーケティング本部長)	竹原 誠
取締役(生産本部長)	高田 耕治
取締役(営業本部長)	鈴木 正人
取締役	笠原 かほる
取締役(常勤監査等委員)	藤本 義久
取締役(監査等委員)	渡邊 純子
取締役(監査等委員)	松尾 茂樹

(注)笠原かほる、渡邊純子、松尾茂樹の各氏は、社外取締役であります。